



原敬記念館

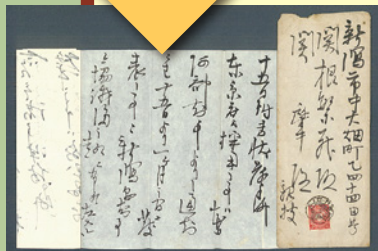
『業苑』第三・三・五號(明治36・37年)

『原敬関係写真アルバム』より、『政友会本部にて』(前列右が原敬)

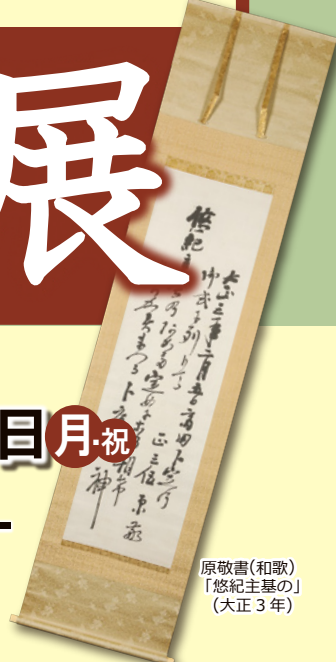
新収蔵資料展



國勢調査記念繪葉書(大正9年)



関根繁蔵・関肇宛原敬書簡(明治42年5月17日)



原敬書(和歌)
「悠紀主基の」
(大正3年)

令和6年10月19日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

指定管理者：公益財団法人盛岡市文化振興事業団

原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25
TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始
入館料 一般 200円(団体120円)
小・中学生 50円(団体30円)
団体入館料は30人以上の団体に適用します

主催 原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)
公益財団法人盛岡市文化振興事業団
共催 原敬を想う会



原敬
記念館

新収蔵資料展

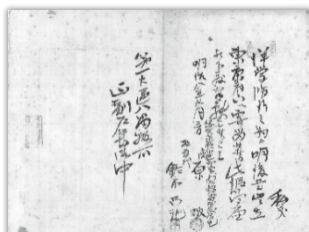
令和6年10月19日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

原敬記念館では、原敬に関するさまざまな資料を収集しています。本展では令和元～5年度(2019～2023)に、寄贈・購入等により新しく収蔵・整理した資料の中から、主な資料を展示します。

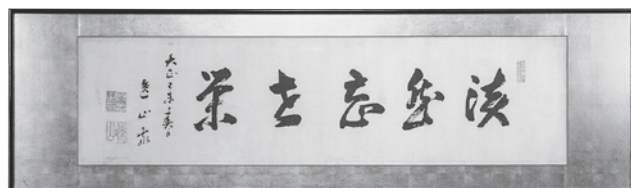
原敬と親族に関する資料、初当選した明治35年(1902)の衆議院議員選挙に関する資料、原敬と関連人物の書、写真や絵葉書など、約50点について、その内容や歴史的背景を紹介します。



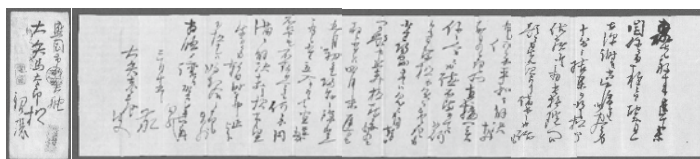
伝 原リツ使用 女児用着物地
原敬の母・リツの遺品として、親族に伝えられたもの。



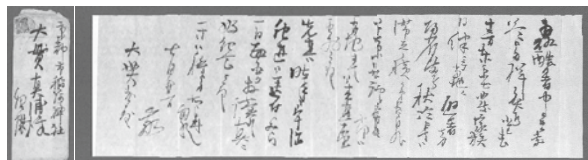
原敬東京府寄留届 付同許可書
明治8年(1875)
原敬が平民として分家後、上京する際に届け出た書類。



原敬書「淡々忘世栄」 大正8年(1919)
意味は、淡々として世俗的な栄誉を忘れる。首相就任の翌年に揮毫した書。



大矢馬太郎宛原敬書簡 大正4年(1915)3月15日
盛岡政財界の有力者に宛てて、岩手での貴族院議員問題について述べた書簡。



大貫真浦宛原敬書簡 年不明 7月21日
書生時代からの知人である、伏見稲荷神社宮司に宛てた書簡。

はら たかし
原敬 | 1856～1921 |

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村(現盛岡市本宮)に生まれる。盛岡藩士・原直治の二男。藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。



◆関連講座

演題／新収蔵資料から
-原敬初めての選挙と岩手政界の人々-
講師／渡辺美知(原敬記念館学芸員)
日時／令和6年12月14日(土)13:30～15:00
受付／令和6年11月30日(土)10:00～電話にて先着15人

◆ギャラリートーク

日時／①令和6年11月10日(日)13:30～14:15
②令和6年12月14日(土)15:15～16:00
③令和7年1月13日(月・祝)13:30～14:15
受付／①令和6年10月27日(日)、②11月30日(土)、③令和7年1月4日(土)
いずれも10:00～電話にて先着15人
料金／入館料が必要(ただし②のみ同日開催の講座参加者は無料)

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ
[他館のご案内]

◎盛岡市先人記念館

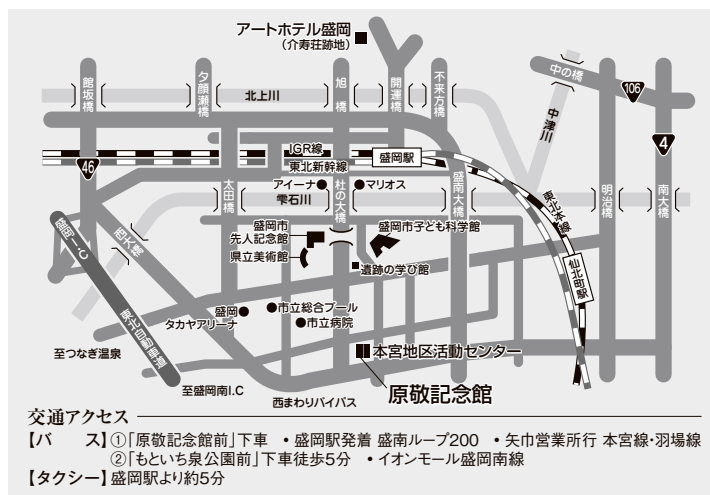
第70回企画展「在米ジャーナリスト 浅野七之助の軌跡」
令和6年9月14日(土)～12月1日(日)

◎石川啄木記念館(令和7年3月まで〈予定〉休館中)

移動展示「啄木顕彰のあゆみ」(会場:もりおか啄木・賢治青春館
※連携事業) 令和6年11月1日(金)～12月22日(日)

◎盛岡てがみ館

第72回企画展「金田一京助の手紙～手紙から伝わる人柄～」
令和6年10月16日(水)～令和7年2月10日(月)



交通アクセス
【バス】①「原敬記念館前」下車・盛岡駅発着 盛岡ループ200・矢巾営業所行 本宮線・羽場線
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分・イオンモール盛岡南線
【タクシー】盛岡駅より約5分